

1 は じ め に

青森県 三戸郡弓道協会 会長 山崎 誠
(桜美林大学弓道部創設初代主将・初代監督)

我が母校、桜美林大学弓道部は本年（平成22年）創立四十周年を迎えることができました。部創設から、四十年の歳月の経過を思うとき、当時が走馬燈のように懐かしく思い出され、誠に感無量であります。

思えば、昭和四十五年、当時大学二年であった私が中心となり、同学年の中文の井深勝之、英文の浅井恵子、高橋妙子、杉村泰代の四氏の良き理解者の協力を得て、桜美林大学弓道部が創設されたのであります。爾来、吉田能安先生を始め、多くの皆様方のご指導のもと、後輩諸君の弛まぬ努力により、揺るぎない今日を築くことができました。

改めて、これまで我が弓道部を支えて下さった多くの皆様方に、感謝と御礼を、そして伝統を脈々と引き継いでくれた、後輩諸君に心から敬意を表するものであります。

幸いこの記念すべき年に、後輩諸君は、男子が全関東学生弓道選手権において団体初優勝、更には女子が全日本学生弓道選手権において3回目の団体優勝、また都学連I部リーグ優勝という輝かしい成果を挙げてくれました。誠に喜ばしい限りであります。選手諸君の健闘はもちろんのことでありますが、石山監督及びコーチ陣の指導と努力に、これまた敬意を表する次第であります。現役諸君にはこれに驕ることなく、伝統を更に大きく発展させ、孔子の言う『天命』にあたる五十周年を目指し、日々是精進されることを期待しております。

さて、私事で誠に恐縮ではありますが、今年還暦を迎えることと相成りました。最近特に老眼が進み、パソコンに向かうのも難儀を感じ、更には古い時代のことならいざ知らず、つい数日前のことすら、なかなか思い出せず、健忘症の兆しが見え隠れする今日この頃であります。従いまして、私が気力体力の充実している今こそ、初代師範吉田能安先生が桜美林に関わった思い出、更には私に賜ったご指導の一端を書き記しておくことは、後輩諸君の日々の稽古と、弓道即実生活に、何かのお役に立てるのではないかと思ひ立ち、OB会ホームページに、上記の目次の如く寄稿させて戴いた次第であります。一通り終えて見ると、年月だけは定かではないのですが、こういうことも教わった、ああいうこともあったと、書き足りなかったことが数多く思い出され、悔やまれてなりません。

これを契機に、私の代以外のOB諸氏も、吉田先生の思い出を、このページの後に続けて綴って戴けるならば、紫雲会（桜美林弓道部OB会）編集による『桜美林大学弓道部OBによる吉田能安先生追想録（仮称）』の本も刊行可能なのではないかと思われてなりません。そのことが、初代師範吉田能安先生のご恩に報いることにもなり、密かに期待致しておるところであります。